

## ④ 第7次三重県医療計画 評価表【糖尿病対策】

## 数値目標の状況

項目		策定時	目標	1年後	2年後	3年後	4年後	5年後	6年後
特定健康診査受診率・特定保健指導実施率	特定健康診査受診率	53.0%	70%以上	54.2%【H28】	55.0%【H29】	56.3%【H30】	58.3%【R元】	57.7%【R2】	
	特定保健指導実施率	17.5%	45%以上	19.0%【H28】	20.0%【H29】	20.6%【H30】	23.6%【R元】	21.9%【R2】	
糖尿病の可能性を否定できない人（HbA1c（NGSP値）6.0%以上6.5%未満）の割合	40～49歳	男性	4.3%	3.9%以下	4.1%【H29】	3.3%【H30】	5.0%【R元】	4.8%【R2】	4.7%【R3】
		女性	2.0%	1.8%以下	2.1%【H29】	2.3%【H30】	2.5%【R元】	2.7%【R2】	2.7%【R3】
	50～59歳	男性	8.2%	7.4%以下	7.6%【H29】	7.4%【H30】	8.2%【R元】	9.2%【R2】	9.7%【R3】
		女性	6.3%	5.7%以下	5.7%【H29】	6.4%【H30】	6.9%【R元】	6.8%【R2】	6.6%【R3】
	60～69歳	男性	13.8%	12.4%以下	11.6%【H29】	12.0%【H30】	13.2%【R元】	13.3%【R2】	13.8%【R3】
		女性	12.1%	10.9%以下	10.7%【H29】	10.3%【H30】	11.6%【R元】	12.1%【R2】	12.0%【R3】
糖尿病が強く疑われる人（HbA1c（NGSP値）6.5%以上）の割合	40～49歳	男性	5.2%	現状値より減少	3.8%【H29】	4.3%【H30】	4.3%【R元】	4.6%【R2】	4.8%【R3】
		女性	1.4%		1.3%【H29】	1.9%【H30】	1.8%【R元】	1.8%【R2】	1.5%【R3】
	50～59歳	男性	10.7%		7.5%【H29】	9.2%【H30】	9.0%【R元】	9.9%【R2】	9.7%【R3】
		女性	3.9%		3.1%【H29】	3.3%【H30】	3.8%【R元】	4.0%【R2】	4.0%【R3】
	60～69歳	男性	12.6%		10.8%【H29】	11.1%【H30】	12.3%【R元】	13.3%【R2】	13.5%【R3】
		女性	6.8%		5.6%【H29】	5.7%【H30】	6.2%【R元】	6.5%【R2】	6.6%【R3】
糖尿病性腎症による年間新規透析導入患者数		206人（人口10万人あたり11.1人）	新規導入数の低減	228人（人口10万人あたり12.3人）【H28】	256人（人口10万人あたり13.9人）【H29】	210人（人口10万人あたり11.4人）【H30】	193人（人口10万人あたり10.6人）【R元】	192人（人口10万人あたり10.6人）【R2】	

■ 昨年度より増加

■ 昨年度より減少

## 現状と課題

### 取組方向 1：健康診断等による予防・早期発見

- ・ 糖尿病をはじめとする生活習慣病予防のため、企業や関係団体、医療機関、市町等と連携し、バランスのとれた食生活や運動、禁煙、定期的な健康診断の受診等の啓発を、デジタルやメディアも活用しながら取り組んでいます。
- ・ 企業や市町と連携して県民の主体的な健康づくりを推進する「三重とこわか健康マイレージ事業」の周知を図り、マイレージ特典協力店およびマイレージ取組事業所として、1,000以上の店舗等が参画しています。
- ・ 「三重とこわか県民健康会議」を通じて、企業、関係機関・団体、市町と連携し、社会全体で継続的に健康づくりに取り組む気運の醸成を図っています。
- ・ 企業における健康経営の取組を促進するため、「三重とこわか健康経営カンパニー」認定制度や「三重とこわか健康経営促進補助金」による支援を実施するとともに、優れた健康経営に取り組んでいる企業を「三重とこわか健康経営大賞」として表彰しています。
- ・ 引き続き、県民が主体的に取り組む健康づくりや企業の健康経営の取組を促進するなど、社会全体で継続的に健康づくりに取り組んでいく必要があります。

※「健康経営」は、NPO 法人健康経営研究会の登録商標です。

### 取組方向 2：関係機関の連携による糖尿病の発症予防と重症化予防対策の推進

- ・ 全市町において、糖尿病対策推進会議との連携のもとに糖尿病性腎症重症化予防事業が進められています。
- ・ 糖尿病患者に対する医科歯科連携を推進するため、県医師会・県歯科医師会と連携し作成した啓発媒体により、糖尿病と歯周病の関連性について啓発しています。
- ・ 三重県糖尿病対策懇話会を毎年開催し、関係機関が連携した取組を推進するため、医療関係団体、保険者、市町等の取組について情報共有を図るとともに、糖尿病対策について協議しています。
- ・ 重症化予防のために、地域と医療機関をはじめ、関係機関がさまざまな連携を行い取組を進めていく必要があります。
- ・ 糖尿病の合併症でもあり重症化すると透析に至る慢性腎臓病（CKD）対策についても、糖尿病重症化予防対策と連携し、効果的な対策の推進を図る必要があります。

### 取組方向 3：糖尿病医療、予防に従事する関係職種の人材育成

- ・ 糖尿病予備軍を減少させるため、特定健康診査・特定保健指導実施者研修を通じ、適切な保健指導を行う人材を育成するとともに、平成 30 年度から、糖尿病性腎症重症化予防プログラム等に基づき、糖尿病の重症化予防に向けた専門的な支援ができる人材を広く育成するため、多職種を対象とした研修を行っています。
- ・ 「三重県糖尿病性腎症重症化予防プログラム」に基づいた受診勧奨や保健指導の取組が促進されるよう、地域のニーズに応じ、新たな人材の育成と個々のスキルアップのために、継続した研修の開催と参加勧奨を行っていく必要があります。

## 令和 5 年度の取組方向

---

### 取組方向 1：健康診断等による予防・早期発見

- ・引き続き、関係機関と連携し、多様な機会を捉えて県民に対し、糖尿病をはじめとした生活習慣病対策の普及啓発活動を進めます。
- ・「三重とこわか健康マイレージ事業」の周知を引き続き図り、企業や市町と連携して県民の主体的な健康づくりを推進します。
- ・社会全体で健康づくりに継続して取り組む気運の醸成を図るとともに、「三重とこわか健康経営カンパニー」認定制度の普及定着や、DXを取り入れた取組を行う企業に対する「三重とこわか健康経営促進補助金」による支援、「三重とこわか健康経営大賞」による表彰により、企業における健康経営を促進します。

### 取組方向 2：関係機関の連携による糖尿病の発症予防と重症化予防対策の推進

- ・引き続き、糖尿病対策推進会議と連携し、市町等における糖尿病性腎症重症化予防事業が推進するよう支援を行います。さらに、糖尿病の発症予防や重症化予防等健康づくりの取組における優良事例等について、糖尿病対策推進会議市町事業報告・検討会での共有や取組の横展開を図ります。
- ・糖尿病と歯周病の関連について、関係機関が連携しながら、啓発媒体等を活用し糖尿病患者へ浸透するよう啓発を進めます。
- ・引き続き、三重県糖尿病対策懇話会を開催し、関係機関で情報共有を図り、対策を強化していきます。

### 取組方向 3：糖尿病医療、予防に従事する関係職種の人材育成

- ・引き続き、糖尿病予備軍の減少に向けて、特定健康診査・特定保健指導に携わる人材の育成を行うとともに、糖尿病性腎症重症化予防プログラム等に基づいた重症化予防対策が地域で効果的に進められるよう、ニーズをふまえ、研修の開催等により人材育成に努めます。